

令和2年度第2回松本市有価資源物価格協議委員会 会議録

日 時 令和3年3月25日（木）午後3時55分から4時25分

場 所 松本市役所東庁舎4階 第3委員会室

参加者（13名） 委員10名（別紙名簿のとおり）

松本市 環境業務課 百瀬課長、花村課長補佐(報告者)、久保田主査

1 開会

(百瀬課長)

令和2年度第2回松本市有価資源物価格協議委員会を開催いたします。

委嘱状の交付について（丸山正秀委員の新任、任期R2.10.3～R4.10.2）

2 あいさつ

(山田委員長)

あいさつ「9月以来の開催、異動により去る委員もおられるが任期中はぜひお願いしたい。本日も速やかな進行となるようご協力いただきたい。」

3 議長選出

(百瀬課長)

本会議の委員長を委員会設置要綱第4条、議長を同第5条により山田委員長を指名。※副委員長は委員長の指名（田中委員を選任）

4 議事

(山田委員長)

議題(1)資源物の価格改定について、事務局から説明をお願いします。

(花村課長補佐)

資料「資源物の改定価格案について」の説明

現在の市場状況を説明し、3月12日資源リサイクル業務研究会を開催し、基準となる相場価格を基に、売却額から経費を除いた額に相当するよう、調整額を用いて算出した価格案であることを説明する。

(山田会長)

改定価格案について、荷受業者から意見を伺います。

(鈴木委員・花村産業)

アルミ・鉄ともの市場価格は上昇している、アルミは、半導体は低迷したままだが自動車業界の好調によるところが大きい。鉄も上げすぎた感はあるもののこの先も大きな崩れはない予想される。今回の改正価格は妥当と考える。

(新井委員・しんえこ)

同上。鉄が昨年秋以降上昇し、国内外の供給バランスが安定している。アルミ・鉄ともこの価格でやらせていただく。

(百瀬委員・百瀬商店)

紙は横ばい、流通は回復しつつあるが、発生量が全く足りず厳しい状況にある。価格はこの価格でよい。

布は少し動きがあるものの、価格は0円継続で願いたい。

(神農委員・ヤマカ資源回収)

紙は、発生量が減っているのに値段がほとんど下がらない。中国輸出がストップしたことで、下げ止まりし安定しているのか？価格はこれでよい。

布は、各業者の取引先の事情により差があるが、0円の継続で。

(高木委員・日光紙業)

紙は発生量自体落ちており、厳しい状況だが、この価格で維持願いたい。

布は、東京本社では古布が流通し出しているが、松本は動きがないので全く受け入れられる体制はない。0円維持を希望する。

(山田委員・山田商店)

前年と状況は変わらないので、このままでよい。

(山田委員長)

改定価格案に反対意見がありませんでしたので、改定価格を審議します。

アルミを29円加算し59円、鉄を9.6円引き上げて9.6円、その他のものは据え置きでよろしいでしょうか。(新聞4円、雑誌0.5円、段ボール2.5円、古布0円、一升びん4円、ビールびん(大)5円、ビールびん(中・小)4円、ジュースびん5円)

・全委員承認

(山田委員長)

以上、価格について決定いただきましたが、適用の期日については、3月1日からの回収分、4月1日以降の調定からでよろしいでしょうか。

・全委員承認

(山田委員長)

その他事務局からありますか。

(百瀬課長)

ありません。

(山田委員長)

「古布の取り扱い」について確認したいが、実際出しているのか、ダメなのか？

(花村課長補佐)

2月発送の衛生部長への通知で「引き続き自宅保管の要請と無理ならば各家庭1袋程度の排出はやむを得ない」と周知した。

(百瀬委員・百瀬商店)

出たものは荷受業者としても対応することとしている。可燃ごみとして出されるのは好ましくない。

(百瀬課長)

衛生部長の改変期に合わせて、こまめな周知を図ることとしたい。

これで、閉会します。

(以上)